

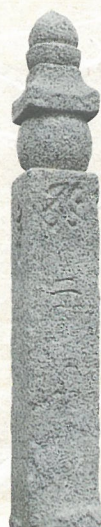
古道を訪ねて ③⑤

巡礼道 (勝尾寺〜総持寺) ⑦

「須久久神社」から、巡礼道に戻り、東に向かって300mほど行くと、道は左右に分かれます。ここから右(南)に曲がり100m進むと小川が流れています。旧道は小川に沿って(左) 東に曲がります。倉庫



▲巡礼橋



が立ち並ぶ間を進んで行くとやがて、国道171号と交差します。国道を渡り、さらに小川に沿って進み勝尾寺川に架かる橋を渡ります。橋の欄干を見ると『巡礼橋』と刻まれており、この道が巡礼道であることを教えてくれます。



▲道標③



▲道標①

橋を渡って100mほど進むと、巡礼道は西国街道と合流します。合流したところに『宿川原西会場』があります。その敷地内に、巡礼道にあった3基の道標が移転されています。道標①には「すぐかちをうじ道」、②には「これより右ハかつおじみち」、③には「右かつをうじ」と刻まれ、いずれも勝尾寺へ向かう巡礼のために建てられたと考えられる道標です。建立年が刻まれていませんが、「かちをうじ」と昔の読み名が刻まれた①の道標は、江戸時代のものであると考えられます。道路の拡張や車の衝突などにより、行方不明になったり、折れてしまったりして、道標は、どんどん少なくなっています。このように移転して保存することにより、地域の歴史を物語る資料になります。

西国街道と合流して東に進んで行くと、やがて街道は石畳風に整備され、道の両側に歴史が感じられる旧家が増えます。この付近は江戸時代に郡山宿として栄えた所です。合流点から300mほど行くと『椿本陣』の愛称で有名な、国指定史跡『郡山本陣』にたどり着きます。

